

一般財団法人みやぎ産業交流センター定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、一般財団法人みやぎ産業交流センターと称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を宮城県仙台市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の開催及び支援等に関する事業を行うことにより、宮城県の産業振興、地域経済の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 見本市、展示会、会議、イベント、大会等の誘致
- (2) 見本市、展示会、会議、イベント、大会等の開催
- (3) 見本市、展示会、会議、イベント、大会等の開催支援
- (4) 見本市、展示会等への出展支援
- (5) 展示施設等の管理運営
- (6) 展示施設等の効用増進
- (7) 展示会活用推進
- (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

第3章 資産及び会計

(財産の種類と構成)

第5条 この法人の財産は、基本財産及び基本財産以外のその他の財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産で、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 財団法人みやぎ産業交流センター設立時の出損金 1,779,000,000 円
- (2) 基本財産とすることを指定して寄付された財産
- (3) 理事会において基本財産に繰り入れることを決議した財産

(基本財産の維持及び処分)

第6条 基本財産は、評議員会において別に定めるところにより、善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

2 やむを得ない理由により基本財産を処分又は基本財産から除外しようとするときは、理事会において、理事現在数の4分の3以上の承認を得なければならない。

(事業年度)

第7条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

- 第8条 この法人の事業計画書、収支予算書については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経なければならない。ただし、やむを得ない事情があるため、その決議を経ることができない場合には、その事業年度開始の日から3箇月以内に理事会の決議を経るものとする。
- 2 前項ただし書の場合にあつては、理事長は、理事会の決議を経るまでの間は、前事業年度の予算に準じて収入及び支出をすることができる。
 - 3 前項の規定による収入及び支出は、新たに成立した予算の収入及び支出とみなす。
 - 4 理事長は、第1項の事業計画又は予算を変更しようとするときは、理事会の決議を経なければならない。ただし、軽微な変更については、この限りでない。
 - 5 第1項の書類については、主たる事務所に当該事業年度が終了するまでの間備え置くものとする。

(事業報告及び決算)

- 第9条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。
- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 正味財産増減計算書
 - (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号及び第4号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。
 - 3 第1項の書類のほか、監査報告を主たる事務所に5年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置くものとする。

第4章 評議員

(評議員)

第10条 この法人に評議員3名以上10名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）第179条から第195条の規定に従い、評議員会において行う。

(評議員の任期)

- 第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
 - 3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員に対する報酬等)

第13条 評議員は、無報酬とする。

第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事の報酬等の額
- (3) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (4) 定款の変更
- (5) 残余財産の処分
- (6) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第18条 評議員会の議長は、会議の都度、出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第19条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第21条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第20条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議事録には、議長及び出席した評議員の中から選任された議事録署名人2名が記名押印しなければならない。

第6章 役員

(役員の設定)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 3名以上12名以内
- (2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を理事長とし、1名を常務理事とする。

3 前項の理事長をもって、法人法上の代表理事とし、代表理事以外の理事のうち、常務理事をもって第197条において準用する第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第22条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

3 理事のうち、理事のいずれか1名とその配偶者又は3親等内の親族その他特別の関係にある者の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。

(理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を執行する。

3 理事長及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第26条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員の報酬等)

第 27 条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事に対しては、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

第 7 章 理事会

(構成)

第 28 条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第 29 条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び常務理事の選定及び解職

(開催)

第 30 条 理事会は、毎事業年度開始前及び事業年度終了後 3 箇月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第 31 条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第 32 条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、他の理事がこれに当たる。

(決議)

第 33 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、法人法第 197 条において準用する同法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 34 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印しなければならない。

第 8 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 35 条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

- 2 前項の規定は、この定款の第 3 条、第 4 条及び第 11 条についても適用する。

(解散)

第 36 条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(剰余金の分配の制限)

第 37 条 この法人は、剰余金の分配を行うことができない。

(残余財産の帰属)

第 38 条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第 9 章 公告の方法

(公告の方法)

第 39 条 この法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第 10 章 雑則

(委任)

第 40 条 この定款の施行について必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て別に定める。

(事務局)

第 41 条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長及び重要な職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する。
- 4 前項以外の職員は理事長が任免する。
- 5 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て別に定める。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 121 条第 1 項において読み替えて準用する同法第 106 条第 1 項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 121 条第 1 項において読み替えて準用する同法第 106 条第 1 項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行ったときは、第 7 条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の最初の理事長は伊東則夫とする。

一般財団法人みやぎ産業交流センター 評議員・役員名簿

令和6年6月11日現在

	役職	氏名	所属団体・役職	備考
1	評議員	梶村 和秀	宮城県経済商工観光部長	
2	評議員	木村賢治朗	仙台市経済局長	
3	評議員	山本 俊二	宮城県商工会議所連合会 副会長	
4	評議員	神谷 統	宮城県市長会 事務局長	
5	評議員	小野寺芳一	株式会社七十七銀行 専務取締役	
6	評議員	鈴木 隆	株式会社仙台銀行 代表取締役頭取	
7	評議員	渡辺 隆夫	東北電力株式会社 執行役員宮城支店長	
8	評議員	小野 和宏	宮城県町村会 理事兼事務局長	

	役職	氏名	所属団体・役職	備考
1	理事長	千葉 隆政	一般財団法人みやぎ産業交流センター 理事長	
2	常務理事	布田 秀一	一般財団法人みやぎ産業交流センター 常務理事兼事務局長	
3	理事	菅井 和宏	同和興業株式会社 代表取締役社長	
4	理事	一力 敦彦	東北放送株式会社 代表取締役社長	
5	理事	稲木 甲二	株式会社仙台放送 代表取締役社長	
6	理事	今野 俊宏	株式会社河北新報社 常務取締役事業担当・事業局長	
7	理事	長沼 博	株式会社ユアテック 常務執行役員宮城支社長	
8	理事	青沼 廣利	一般社団法人みやぎ工業会 専務理事	
9	理事	千坂 守	宮城県経済商工観光部 副部長	
10	理事	白岩 靖史	仙台市経済局 イノベーション推進部長	
1	監事	半沢 章	宮城県中小企業団体中央会 専務理事	
2	監事	稲妻 敏行	宮城県商工会連合会 専務理事	

令和5年度 事業報告書

令和5年度事業報告

I 総括

令和5年5月から、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが5類に移行し、様々な社会経済活動がコロナ禍前の状況に段階的に回復してきており、当財団の基幹事業である夢メッセみやぎの運営では、年度全体の催事開催件数は324件と前年度（248件）の約1.3倍に増加しましたが、コロナ禍前の平成30年度開催件数（365件）との比較では、約90%にとどまっています。特に、主要な施設である本館展示場の利用件数は70件と前年度（59件）に比べ増加したものの、平成30年度（93件）の約75%にとどまり、施設全体では引き続き厳しい運営状況となりました。

こうした中、施設運営に当たっては、主催者にも来場者にも利便性が高く、安全に安心してご利用いただけるようサービスの向上に努めました。主催事業である「全国やきものフェア in みやぎ2023」はじめ、4年ぶりに開催された「みやぎ元気まつり2023」等のイベントには、多くのお客様にご来場いただき、たいへん賑わいました。

さらに、地域との連携については、「仙台港エリア振興会」の事務局として仙台港エリア内の店舗及び事業所との情報共有を図るとともに、「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」のメンバーとしてエリア内の賑わい創出や活気溢れるまちづくりに参画しました。

なお、夢メッセみやぎの指定管理については、当財団を代表団体とする「夢メッセみやぎ管理運営共同事業体」が、引き続き令和6年4月から令和11年3月までの5年間の指定管理者として選定されました。

II 実施事業

1 展示会等の開催、支援、誘致

(1) 展示会等の開催事業

- ① 全国やきものフェア in みやぎ 2023（共催 7月13日～17日 入場者数 32,257人）
- ② みやぎ元気まつり 2023（共催 8月5日～6日 入場者数 24,500人）
- ③ ビジネスマッチ東北 2023（実行委員会参加 11月8日 入場者数 6,072人）
負担金 2,000,000円（税込）

(2) 展示会等の開催支援事業

- ① 花と緑のココロ博 2023（4月21日～23日 入場者数 30,000人）
- ② JAグループ宮城営農支援フェスタ 2023（11月21日～22日 入場者数 1,500人）
開催支援金 600,000円（税込）
- ③ 小規模国際学術会議等開催支援
（公財）仙台観光国際協会と連携し、将来の大規模開催に繋がる小規模国際学術会議開催への支援。
支援対象 夢メッセ西館又は仙台市内のその他の施設で開催される100人未満の国際学術会議
支援件数 2件
支援総額 100,000円（税込）

(3) 展示会等の誘致活動事業

- ① 首都圏での営業活動を行う MICE 誘致キャラバンに参加（8月9日～10日）
- ② 南東北3県の展示施設間での情報交換（2月2日 情報交換会出席）
- ③ 仙台市内のコンベンション施設関係者との定期的な情報交換
（7月13日、1月31日 情報交換会出席）
- ④ 「名古屋吹上ホール」との相互利用割引制度による誘致（実績なし）
- ⑤ SENDAI Communication Fair in 仙台国際センター－SENCom2024－へ出展
（2月14日）

2 展示会等出展支援事業

国際見本市その他の見本市，展示会等への出展支援として「みやぎ優れMONO」認定製品の出展に対する助成

支援対象 宮城県の実施する「優れ MONO 認定事業」の認定を受けた工業製品

支援件数 3件

支援総額 474,960 円（税込）

みやぎ優れ MONO 発信事業実行委員会負担金 700,000 円（税込）

3 展示会活用促進事業

(1) 見本市，展示会に関する講演会・セミナー等の開催

第14回夢メッセみやぎ講演会の開催（3月21日 参加者68人）

演題：『【実演】最強の出展結果を出す「ロジカルなブースのつくり方」
～「来場者の心理」から考える「空間デザイン」とは？～』

講師：SUPER PENGUIN 株式会社 代表取締役 竹村 尚久 氏

会場：夢メッセみやぎ本館 会議棟 大ホール

(2) M I C E 関連見本市等を通じての情報収集

(3) 全国展示場連絡協議会への参加

4 展示施設等効用増進事業

該当する施設・設備等の整備は無し。

III その他事業

1 展示施設等管理運営事業

(1) 夢メッセみやぎ管理運営事業

宮城県との「みやぎ産業交流センターの管理運営に関する基本協定書（平成31年4月1日～令和6年3月31日）」に基づき、「夢メッセみやぎ管理運営共同事業体」の代表団体として、利用者・来場者サービスの向上を図るとともに、施設の良好な維持管理・運営に努めました。

(2) 広報・宣伝等事業

広報・宣伝活動として、専門誌による施設紹介等の広報を行うとともに、ホームページでの各種イベントの案内や動画による施設紹介、主催者向けの各種情報提供等を実施し、一層の利用促進に努めました。

(3) 地域との連携事業

「仙台港エリア振興会」の事務局として、情報交換会を2回開催したほか、エリア内の店舗・事業所と連携し、賑わい創出、情報発信に努めました。

また、仙台港エリアの賑わいづくりを目的に、立地企業や宮城県・仙台市を含めた官民一体の組織として設立された「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」に参画し、賑わいづくりに取り組みました。

令和5年度みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）利用状況

【本館 展示棟】

NO.	自	至	催事名	利用 区画	利用 日数	区画 数	入場者数 (人)	
1	3/31	4/3	ポケモンカードゲームチャンピオンリーグ2023宮城	3	3	9	3,000	※1
2	4/5	4/9	第42回東北どてらい市	3	5	11	3,274	※2
3	4/10	4/13	2023年春期 セブン-イレブン商品展示会	3	4	12	4,342	
4	4/14	4/16	東北カスタムカーショー2023 in 仙台	3	3	9	10,000	
5	4/18	4/24	花と緑のココロ博2023	2	7	14	30,000	
6	4/28	4/30	ルビシア グラン・マルシェ2023	1	3	3	10,000	
7	5/2	5/7	Detefm仙台エコカーフェスpowered by アベカツ2023	2	6	12	5,000	
8	5/11	5/14	第9回みちのくミネラルマルシェ	1	4	4	4,000	
9	5/27		みちのくCOMITIA 10～創作旅行～仙台出張	1	1	1	1,000	
10	6/1	6/4	協立フェア2023	1	4	4	1,200	
11	6/2	6/5	ユノメ家具特別企画 家具インテリア大バザール	1	4	4	3,000	
12	6/4	6/9	建設技術公開「EE東北'23」	3	6	17	10,000	※3
13	6/9	6/10	東北みらい市（2023）	2	2	4	3,000	
14	6/11		仙台コミケ272	1	1	1	1,306	
15	6/13	6/15	東北ジャパン建材フェア2023	3	3	9	2,080	
16	6/17	6/18	ONE PIECEカードゲーム チャンピオンシップ予選大会	2	2	4	3,000	
17	6/20	6/22	JAグループ宮城 農業機械展示会	2	3	6	1,500	
18	6/23	6/25	第62回仙台伊藤忠ファミリーフェア	2	3	6	7,000	
19	6/30	7/1	将棋日本シリーズ JTプロ公式戦／テーブルマーク子供大会 東北大会2023	2	2	4	1,000	
20	7/3	7/4	マイナビ進学ライブ仙台会場	2	2	4	2,000	
21	7/6	7/10	グラブルEXTRAフェス2023	3	5	15	6,000	
22	7/11	7/17	全国やきものフェアinみやぎ2023	3	7	21	32,257	
23	7/18	7/22	つなぐ東北グランドフェア2023	3	5	15	6,731	
★ 24	7/28	7/29	エネサンス東北 夏のリフォーム・新築フェア	1	2	2	1,000	
25	7/30	8/1	国分東北棟2023年秋冬総合展示商談会	3	3	9	900	
26	8/3	8/6	仙台放送presents みやぎ元気まつり2023	3	4	12	24,500	
27	8/19	8/20	モンスターグランプリ	1	2	2	200	
28	8/24	8/27	ツルハファミリーフェスタ2023～鶴の恩返し in 仙台	3	4	12	18,000	
29	8/28	8/31	CareTEX仙台'23	1	4	4	3,000	
30	9/1	9/2	第15回夢メッセみやぎトータルフェア	3	2	6	3,791	
31	9/9	9/10	DARTSLIVE OPEN 2023 MIYAGI	1	2	2	1,000	
32	9/10		仙台コミケ273	1	1	1	1,200	
33	9/15	9/18	Detefm仙台エコカーフェスpowered by アベカツ	1	4	4	755	
★ 34	9/15	9/17	ブックオフトレカフェス2023 in Sendai	1	3	3	1,000	
35	9/19	9/20	第11回まごころ収受コンテスト	1	2	2	100	
36	9/21	9/23	オートアフターマーケット東北2023	2	3	6	900	
37	9/29	10/1	東北マツダ特別展示会	1	3	3	400	
38	10/3	10/5	製菓・製パン原材料・機械の総合展示会	1	3	3	898	
39	10/7		新日本プロレス「Road to DESTRUCTION」仙台大会	2	1	2	1,000	
40	10/8		愛車自慢新人コンテスト東北大会	3	1	3	0	
41	10/9	10/12	2023年秋期 セブン-イレブン商品展示会	3	4	12	4,107	
42	10/13	10/14	JFE せんだいフェスタ	1	2	2	1,000	
43	10/20	10/22	MTGカスタマイズフェア2023	2	3	6	3,000	
44	10/25	10/28	東北ウェルディングフェスタ	2	4	8	1,600	
45	11/2	11/3	マイナビ仕事研究&インターンシップフェア仙台会場	3	2	6	1,300	
46	11/6	11/8	ビジネスマッチ東北2023	3	3	9	6,072	
47	11/10	11/12	第63回仙台伊藤忠ファミリーフェア	2	3	6	7,800	
48	11/19		仙台コミケ274	1	1	1	1,200	
49	11/20	11/22	JAグループ宮城営農支援フェスタ2023	2	3	6	1,500	
50	11/24	11/27	ユノメ家具特別企画 家具インテリア大バザール	1	4	4	3,000	

【本館 展示棟】

NO.	自	至	催事名	利用 区画	利用 日数	区画 数	入場者数 (人)
	12/1	12/3	ONE PIECEカードゲーム チャンピオンシップ2023	2	3	5	3,000
★	12/7	12/11	TOHOKU MUSIC JOURNEY 2023	3	5	15	14,000
	12/15	12/17	冬スポ!!WINTER SPORTS FESTA season23	1	3	3	6,046
	12/17	12/18	Honda新商品勉強会	1	2	2	450
	1/19	1/21	宮城・仙台住宅リフォームフェア	2	3	6	8,000
	1/22	1/24	国分東北(株)・KFC(株)東北支社春夏合同展示商談会	3	3	9	900
	1/27	1/28	第36回介護福祉士国家試験	3	2	6	2,400
★	1/30	1/31	国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムin東北	1	2	2	500
	2/2	2/3	マイナビ就活直前フェア仙台会場	3	2	6	1,000
	2/9	2/10	シャドウバースエポルブ グランドチャンピオンシップ	1	2	2	768
	2/13	2/17	HOUSING SOLUTION FAIR 2023	1	5	5	1,000
	2/22	2/26	ユノメ家具特別企画 家具インテリア大バザール	1	5	5	3,000
	2/23	2/25	J S 東北 & 南海部品仙台店バイクフェスタ2024	1	3	3	2,000
	3/1	3/3	伊藤忠ファミリーフェア～仙台Ciss決算感謝祭～	2	3	6	7,600
	3/15	3/17	東北キャンピングカーショー2024	3	3	9	5,000
	3/18	3/21	2024年春期 セブン-イレブン商品展示会	3	4	12	4,500
	3/22	3/23	春のEthics Fan Meeting 2024 in 東北	2	2	4	4,500
	3/24		仙台コミケ275	1	1	1	1,000
	3/25	3/26	2024年上期ローソンセミナー	3	2	6	1,500
	3/28	3/31	キャストィングpresents2024フィッシングショーin東北	3	4	12	9,000
						440	316,077

※1 年度を跨ぐ催事につき利用日数は4月1日から計上

※2 2日間のみ1区画利用

※3 1日間のみ2区画利用

※4 1日間のみ1区画利用

○ 6月4日1区画, 6月5日1区画, 6月9日2区画を異なる催事による重複利用があったため、
区画数合計から重複利用数を引いて計上

★ 新規催事

【西館 展示場】

NO.	自	至	催事名	利用 日数	入場者数 (人)	
1	3/31	4/2	BMW/MINIの展示会・試乗会	2	500	
2	4/21		GSフェア-2023 IN 仙台	1	300	
3	6/5	6/8	建設技術公開「EE東北'23」	4	-	
4	6/14	6/16	2023 仙台テクニカルフェア	3	600	
5	6/17	6/18	バトスピ15周年記念!バトラーズツアー-2023	2	500	
6	7/19	7/22	つなぐ東北グランドフェア2023	4	-	
★	7	8/18	8/21	骨董アートコレクション東北夏の陣	4	1,000
★	8	9/5	9/6	仙都魚類 第41回年末商品展示提案会	2	1200
9	9/9	9/10	BMW SERVICE LOUNGE キャラバンin仙台	2	1000	
10	9/15	9/18	住まいのリフォーム博	4	600	
★	11	9/26	9/27	2023 エフビコ東北ミニフェア	2	600
12	10/6	10/8	秋のパナソニックフェア	3	300	
★	13	10/25	10/31	HANDA Watch World 時計宝飾展示会	7	3,500
14	11/3	11/3	セキスイハイム断熱リフォームフェア	3	1,500	
15	1/27	1/28	第36回介護福祉士国家試験	2	-	
★	16	2/2	2/4	花卉商業協同組合第35回総合展示見本市	3	700
17	3/1	3/4	第2回 骨董アートコレクション東北 春の陣	4	3,000	
18	3/12	3/15	くらしソリューションスクエア2023	4	600	
★	19	3/22	3/23	リトル・ママフェスタ仙台2024Mar	2	3,000
20	3/29	3/31	BMW・MINIドライブキャラバン2024	3	500	
				61	19,400	

※1 年度を跨ぐ催事につき利用日数は4月1日から計上

★ 新規催事

【西館 ホール】

NO.	自	至	催事名	利用 日数	入場者数 (人)	
1	4/23		全日本プロレス仙台大会	1	350	
2	4/27	4/30	住まいのリフォーム博	4	400	
3	5/19	5/21	ダイクリフォーム展示会	3	200	
4	6/6	6/8	建設技術公開「EE東北'23」	3	-	
5	6/14	6/16	三協アルミ エクステリア新商品発表会	3	458	
6	6/21	6/22	エクステリア合同商品説明会	2	150	
★	7	7/4	7/6	フレール館 仙台エリア展示会	3	80
8	7/19	7/22	つなぐ東北グランドフェア2023	4	-	
★	9	8/14		GOLD祭	1	700
10	8/18	8/20	ダイクリフォーム展示会	3	200	
★	11	8/28	9/3	スガツネ工業 新製品発表会in仙台2023	7	2,000
12	9/5	9/6	仙都魚類 第41回年末商品展示提案会	2	-	
13	9/29	10/1	NISSHO秋のリフォームフェア	3	304	
14	10/13	10/15	オーディオ&ホームシアターフェアin夢メッセみやぎ	3	1,000	
15	10/21		東京女子プロレス仙台大会	1	200	
16	10/26		日産プリンスBCP(事業継続計画)勉強会	1	30	
17	10/27	10/29	BMWテストドライブエクスペリエンス@The5デビュー	3	598	
18	11/3	11/5	セクスイハイム断熱リフォームフェア	3	-	
19	11/23		DDTプロレス仙台大会	1	200	
20	12/2		Japan Dancer's Championship 2024 東北予選	1	300	
21	12/8	12/10	TOHOKU MUSIC JOURNEY 2023	3	-	
22	12/13	12/15	東北マツダ試乗キャラバン	3	150	
23	1/11	1/14	住まいのリフォーム博	4	400	
24	2/2	2/5	絵画展示販売会	4	500	
★	25	2/10		宮世流弥カレンダー2024.4-2025.3発売記念イベントin仙台	1	1,000
26	2/22	2/26	絵画展示販売会	5	500	
27	2/28	3/1	マツダ新製品勉強会	3	380	
28	3/6	3/7	介護ICTフェア	2	100	
29	3/15	3/17	NISSHO春のリフォームフェア	3	350	
30	3/21	3/24	住まいるフェスタin仙台	4	100	
31	3/29		日産サテリオ宮城2024年度上期店長・マネージャー合同会議	1	50	
				85	10,700	

★ 新規催事

◇施設利用件数

(単位:件)

区分	令和4年度	令和5年度
本館展示場	59	70
本館大ホール	92	97
本館会議室	15	32
本館屋外展示場	18	22
西館展示場	16	20
西館ホール	23	31
西館会議室	97	139
西館研修室	5	11
計	325	422

◇稼働率

[本館 展示場]

	令和4年度		令和5年度	
	日数	面積(区画)	日数	面積(区画)
利用 (①)	176	346	203	440
有効 (②)	359	1,077	360	1,080
稼働率 (①÷②×%)	49.0%	32.1%	56.3%	40.7%

[西館 展示場]

	令和4年度	令和5年度
	日数	日数
利用 (①)	49	61
有効 (②)	359	360
稼働率 (①÷②×%)	13.6%	16.9%

[西館 ホール]

	令和4年度	令和5年度
	日数	日数
利用 (①)	58	85
有効 (②)	359	360
稼働率 (①÷②×%)	16.1%	23.6%

令和5年度 決算報告書

- ・ 貸借対照表
- ・ 正味財産増減計算書
- ・ 正味財産増減計算書 内訳表
- ・ 財務諸表に対する注記
- ・ 附属明細書
- ・ 財産目録

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	97,418	45,484	51,934
預金	173,610,282	173,645,641	△ 35,359
未収利息	1,964,697	1,954,150	10,547
未収金	14,695,674	10,194,280	4,501,394
前払金	51,779	0	51,779
立替金	580,823	519,162	61,661
前払費用	1,067,559	1,216,010	△ 148,451
未収消費税等	0	955,200	△ 955,200
流動資産合計	192,068,232	188,529,927	3,538,305
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	9,684,143	259,345,594	△ 249,661,451
投資有価証券	1,769,315,857	1,519,654,406	249,661,451
基本財産合計	1,779,000,000	1,779,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	8,102,000	7,042,000	1,060,000
減価償却引当資産	91,496,959	91,496,959	0
施設補修積立資産	167,345,500	167,345,500	0
特定資産合計	266,944,459	265,884,459	1,060,000
(3) その他固定資産			
投資有価証券	132,630,563	132,263,986	366,577
定期預金	0	1,680	△ 1,680
建物付属設備	3,475,944	3,958,183	△ 482,239
構築物	603,911	659,987	△ 56,076
車両運搬具	5	286,921	△ 286,916
什器備品	6,445,970	8,944,332	△ 2,498,362
ソフトウェア	4,109,467	244,067	3,865,400
貸倒引当金	△ 454,610	△ 291,037	△ 163,573
その他固定資産合計	146,811,250	146,068,119	743,131
固定資産合計	2,192,755,709	2,190,952,578	1,803,131
資産合計	2,384,823,941	2,379,482,505	5,341,436
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	32,763,372	24,882,397	7,880,975
前受金	44,830,175	51,140,759	△ 6,310,584
預り金	2,084,759	918,782	1,165,977
賞与引当金	4,425,068	4,244,256	180,812
未払法人税等	10,399,400	10,399,400	0
未払消費税等	7,158,500	0	7,158,500
流動負債合計	101,661,274	91,585,594	10,075,680
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,102,000	7,042,000	1,060,000
固定負債合計	8,102,000	7,042,000	1,060,000
負債合計	109,763,274	98,627,594	11,135,680
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	1,779,000,000	1,779,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(1,779,000,000)	(1,779,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	496,060,667	501,854,911	△ 5,794,244
(うち特定資産への充当額)	(258,842,459)	(258,842,459)	(0)
正味財産合計	2,275,060,667	2,280,854,911	△ 5,794,244
負債及び正味財産合計	2,384,823,941	2,379,482,505	5,341,436

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	10,201,259	10,893,759	△ 692,500
基本財産運用益	10,197,563	10,890,339	△ 692,776
基本財産受取利息	3,696	3,420	276
②特定資産運用益	36,741	36,746	△ 5
特定資産運用益	35,000	35,000	0
特定資産受取利息	1,741	1,746	△ 5
③事業収益	399,228,846	301,708,156	97,520,690
施設利用料収益	395,103,859	298,743,157	96,360,702
展示会開催事業収益	1,282,865	1,080,324	202,541
自販機等利用料収益	2,842,122	1,884,675	957,447
④受取補助金等	0	24,327,140	△ 24,327,140
受取地方公共団体補助金	0	23,386,500	△ 23,386,500
受取民間補助金	0	940,640	△ 940,640
⑤雑収益	2,580,828	2,642,320	△ 61,492
受取利息	0	88	△ 88
有価証券運用益	920,000	935,562	△ 15,562
雑収益	1,660,828	1,706,670	△ 45,842
経常収益計	412,047,674	339,608,121	72,439,553
(2) 経常費用			
①事業費	404,408,393	395,588,552	8,819,841
展示会開催費	16,849,355	10,351,507	6,497,848
展示会開催支援費	2,454,547	1,454,546	1,000,001
展示会出展助成費	1,068,146	1,036,783	31,363
委託管理費	102,998,600	102,998,600	0
維持管理費	39,378,800	39,608,300	△ 229,500
施設補修費	4,491,120	2,296,624	2,194,496
水道光熱費	81,857,802	72,268,186	9,589,616
管理運営消耗品費	1,799,166	2,711,473	△ 912,307
行政財産目的外使用料	1,908,729	1,908,728	1
納付金	51,851,853	51,851,853	0
固定資産等寄附額	0	3,770,000	△ 3,770,000
減価償却費	3,408,193	3,727,504	△ 319,311
広告宣伝費	2,201,955	3,450,532	△ 1,248,577
役員報酬	6,548,608	5,180,633	1,367,975
給料手当	46,425,167	51,339,567	△ 4,914,400
法定福利費	9,701,581	10,056,692	△ 355,111
退職金掛金	2,112,000	2,072,000	40,000
退職給付費用	1,060,000	1,055,000	5,000
福利厚生費	1,527,750	2,160,654	△ 632,904
諸謝金	500,000	150,000	350,000
会議費	14,111	38,587	△ 24,476
旅費交通費	697,649	365,721	331,928
通信運搬費	1,914,743	1,906,652	8,091
新聞図書費	65,670	166,020	△ 100,350
印刷費	488,000	304,000	184,000
関係団体諸会費	295,957	306,955	△ 10,998
寄附金	0	119,697	△ 119,697
交際費	309,822	311,826	△ 2,004
修繕費	322,026	343,773	△ 21,747
事務用消耗品費	808,183	982,555	△ 174,372
使用料及び賃借料	1,835,204	2,272,189	△ 436,985

科目	当年度	前年度	増減
保険料	115,270	77,370	37,900
租税公課	234,800	2,232,727	△ 1,997,927
委託費	3,340,000	960,000	2,380,000
支払手数料	97,290	62,680	34,610
負担金	82,404	64,548	17,856
研修費	13,637	39,091	△ 25,454
保守料	714,214	707,286	6,928
雑費	0	15,000	△ 15,000
貸倒引当金繰入額	163,573	291,037	△ 127,464
事業所税	10,327,400	10,327,400	0
賞与引当金繰入額	4,425,068	4,244,256	180,812
②管理費	13,967,525	13,959,227	8,298
役員報酬	7,881,328	7,722,110	159,218
給料手当	2,531,513	2,508,119	23,394
法定福利費	1,601,269	1,579,410	21,859
福利厚生費	32,140	46,628	△ 14,488
会議費	213,950	215,050	△ 1,100
旅費交通費	178,242	183,134	△ 4,892
通信運搬費	1,040	909	131
新聞図書費	3,273	5,649	△ 2,376
印刷費	61,900	0	61,900
関係団体諸会費	305,638	300,728	4,910
寄附金	10,000	10,000	0
事務用消耗品費	0	850	△ 850
使用料及び賃借料	22,000	11,000	11,000
租税公課	25,250	13,000	12,250
委託費	314,200	281,200	33,000
支払手数料	4,100	8,400	△ 4,300
負担金	3,710	2,728	982
投資有価証券償却	777,972	1,070,312	△ 292,340
経常費用計	418,375,918	409,547,779	8,828,139
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,328,244	△ 69,939,658	63,611,414
投資有価証券評価損益等	606,000	△ 2,080,000	2,686,000
投資有価証券評価損益等	606,000	△ 2,080,000	2,686,000
評価損益等計	606,000	△ 2,080,000	2,686,000
当期経常増減額	△ 5,722,244	△ 72,019,658	66,297,414
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,722,244	△ 72,019,658	66,297,414
法人税・住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,794,244	△ 72,091,658	66,297,414
一般正味財産期首残高	501,854,911	573,946,569	△ 72,091,658
一般正味財産期末残高	496,060,667	501,854,911	△ 5,794,244
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,779,000,000	1,779,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,779,000,000	1,779,000,000	0
III 正味財産期末残高	2,275,060,667	2,280,854,911	△ 5,794,244

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業会計					その他会計			法人会計	合 計
	展示会開催 事業	展示会出展 支援事業	展示会活用 促進事業	展示施設等 改良事業	共通	小計	施設管理運営 事業(本館)	施設管理運営 事業(西館)		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
①基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,201,259
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,197,563
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,696
②特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	36,741	0	36,741	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	35,000	0	35,000	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	1,741	0	1,741	0
③事業収益	1,282,865	0	0	0	0	1,282,865	335,320,862	62,625,119	397,945,981	0
施設利用料収益	0	0	0	0	0	0	332,717,063	62,386,796	395,103,859	0
展示会開催事業収益	1,282,865	0	0	0	0	1,282,865	0	0	0	0
自販機等利用料収益	0	0	0	0	0	0	2,603,799	238,323	2,842,122	0
④受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤雑収益	0	0	0	0	0	0	2,427,582	43,246	2,470,828	110,000
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有価証券運用益	0	0	0	0	0	0	810,000	0	810,000	110,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	1,617,582	43,246	1,660,828	0
経常収益計	1,282,865	0	0	0	0	1,282,865	337,785,185	62,668,365	400,453,550	10,311,259
(2) 経常費用										
①事業費	21,388,849	1,068,146	1,803,080	0	25,509,875	49,769,950	271,587,729	83,050,714	354,638,443	0
展示会開催費	16,849,355	0	0	0	0	16,849,355	0	0	0	0
展示会開催支援費	2,454,547	0	0	0	0	2,454,547	0	0	0	0
展示会出展助成費	0	1,068,146	0	0	0	0	0	0	0	0
委託管理費	0	0	0	0	0	0	63,549,800	39,448,800	102,998,600	0
維持管理費	0	0	0	0	0	0	25,266,400	14,112,400	39,378,800	0
施設補修費	0	0	0	0	0	0	3,890,520	600,600	4,491,120	0
水道光熱費	0	0	0	0	1,637,156	1,637,156	65,635,245	14,585,401	80,220,646	0
管理運営消耗品費	0	0	0	0	0	0	1,798,466	700	1,799,166	0
行政財産目的外使用料	0	0	0	0	0	0	1,865,483	43,246	1,908,729	0
納付金	0	0	0	0	0	0	51,851,853	0	51,851,853	0
減価償却費	0	0	0	0	681,639	681,639	2,324,694	401,860	2,726,554	0
広告宣伝費	1,633,955	0	0	0	0	1,633,955	568,000	0	568,000	0
役員報酬	0	0	0	0	1,964,582	1,964,582	4,584,026	0	4,584,026	0
給料手当	0	0	0	0	13,927,550	13,927,550	24,851,119	7,646,498	32,497,617	0
法定福利費	0	0	0	0	2,910,474	2,910,474	5,361,400	1,429,707	6,791,107	0
退職金掛金	0	0	0	0	633,600	633,600	1,108,800	369,600	1,478,400	0
退職給付費用	0	0	0	0	318,000	318,000	556,500	185,500	742,000	0
福利厚生費	0	0	0	0	458,325	458,325	874,984	194,441	1,069,425	0
諸謝金	0	0	500,000	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	14,111	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	181,589	0	469,721	0	9,268	660,578	37,071	0	37,071	0
通信運搬費	0	0	1,500	0	286,986	288,486	1,514,090	112,167	1,626,257	0
新聞図書費	12,000	0	0	0	10,734	22,734	42,936	0	42,936	0
印刷費	25,000	0	68,000	0	7,900	100,900	387,100	0	387,100	0
関係団体諸会費	202,729	0	30,000	0	12,646	245,375	50,582	0	50,582	0
寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交際費	0	0	0	0	61,964	61,964	247,858	0	247,858	0
修繕費	0	0	0	0	19,322	19,322	226,094	76,610	302,704	0
事務用消耗品費	0	0	58,500	0	112,452	170,952	637,231	0	637,231	0
使用料及び賃借料	0	0	146,702	0	337,700	484,402	1,350,802	0	1,350,802	0
保険料	0	0	0	0	8,069	8,069	107,201	0	107,201	0
租税公課	0	0	0	0	46,960	46,960	170,000	17,840	187,840	0
委託費	0	0	480,000	0	572,000	1,052,000	2,288,000	0	2,288,000	0
支払手数料	0	0	0	0	19,458	19,458	77,832	0	77,832	0
負担金	29,674	0	34,546	0	0	64,220	18,184	0	18,184	0
研修費	0	0	0	0	2,727	2,727	10,910	0	10,910	0
保守料	0	0	0	0	142,843	142,843	571,371	0	571,371	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	163,573	0	163,573	0
事業所税	0	0	0	0	0	0	7,190,400	3,137,000	10,327,400	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	1,327,520	1,327,520	2,409,204	688,344	3,097,548	0
②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,967,525
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,881,328
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,531,513
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,601,269
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,140
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	213,950
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	178,242
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,040
新聞図書費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,273
印刷費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61,900
関係団体諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	305,638
寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,250
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	314,200
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,100
負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,710
投資有価証券償却	0	0	0	0	0	0	0	0	0	777,972
経常費用計	21,388,849	1,068,146	1,803,080	0	25,509,875	49,769,950	271,587,729	83,050,714	354,638,443	13,967,525
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 20,105,984	△ 1,068,146	△ 1,803,080	0	△ 25,509,875	△ 48,487,085	66,197,456	△ 20,382,349	46,535,107	△ 3,770,266
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	720,000	0	720,000	△ 114,000
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	720,000	0	720,000	△ 114,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	720,000	0	720,000	△ 114,000
当期経常増減額	△ 20,105,984	△ 1,068,146	△ 1,803,080	0	△ 25,509,875	△ 48,487,085	66,917,456	△ 20,382,349	46,535,107	△ 3,770,266
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 20,105,984	△ 1,068,146	△ 1,803,080	0	△ 25,509,875	△ 48,487,085	66,917,456	△ 20,382,349	46,535,107	△ 3,770,266
他会計振替額	20,105,984	1,068,146	1,803,080	0	25,509,875	48,487,085	△ 49,853,304	△ 427,270	△ 50,280,574	1,793,489
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	17,064,152	△ 20,809,619	△ 3,745,467	△ 1,976,777
法人税・住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	72,000	0	72,000	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	16,992,152	△ 20,809,619	△ 3,817,467	△ 1,976,777
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	815,022,198	△ 384,921,095	430,101,103	71,753,808
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	832,014,350	△ 405,730,714	426,283,636	69,777,031
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,779,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,779,000,000
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	832,014,350	△ 405,730,714	426,283,636	1,848,777,031

3. 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券については、償却原価法を採用している。その他有価証券は期末時価により評価している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に定める耐用年数を用いて、定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

・貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

・賞与引当金

職員に対する賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を引当計上している。

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、期末要支給額を充足するよう引当計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	0	359,866,129	359,866,129	0
定期預金	259,345,594	9,684,143	259,345,594	9,684,143
投資有価証券	1,519,654,406	350,181,986	100,520,535	1,769,315,857
小計	1,779,000,000	719,732,258	719,732,258	1,779,000,000
特定資産				
退職給付引当資産				
普通預金	7,042,000	1,060,000	0	8,102,000
減価償却引当資産				
普通預金	21,496,959	0	0	21,496,959
定期預金	70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000
施設補修積立資産				
普通預金	100,000,000	0	0	100,000,000
定期預金	17,345,500	17,345,500	17,345,500	17,345,500
投資有価証券	50,000,000	0	0	50,000,000
小計	265,884,459	88,405,500	87,345,500	266,944,459
合計	2,044,884,459	808,137,758	807,077,758	2,045,944,459

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
普通預金	0	0	(0)	—
定期預金	9,684,143	(9,684,143)	(0)	—
投資有価証券	1,769,315,857	(1,769,315,857)	(0)	—
小計	1,779,000,000	(1,779,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	8,102,000	—	—	(8,102,000)
減価償却引当資産	91,496,959	(0)	(91,496,959)	—
施設補修積立資産	167,345,500	(0)	(167,345,500)	—
小計	266,944,459	(0)	(258,842,459)	(8,102,000)
合計	2,045,944,459	(1,779,000,000)	(258,842,459)	(8,102,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物付属設備	6,957,963	3,482,019	3,475,944
構築物	1,121,557	517,646	603,911
車両運搬具	10,919,365	10,919,360	5
什器備品	45,843,082	39,397,112	6,445,970
ソフトウェア	7,806,100	3,696,633	4,109,467
合計	72,648,067	58,012,770	14,635,297

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産			
中期国債(456)	149,983,985	149,625,524	△ 358,461
中期国債(455)	99,991,185	99,770,000	△ 221,185
長期国債(369)	100,000,000	99,000,000	△ 1,000,000
長期国債(334)	244,165,366	244,338,701	173,335
超長期国債(148)	199,057,452	212,580,485	13,523,033
超長期国債(151)	98,478,458	100,632,397	2,153,939
超長期国債(10)	78,192,404	82,152,100	3,959,696
宮城県債(31-1)	50,000,000	50,255,000	255,000
宮城県債(35-2)	100,000,000	97,610,000	△ 2,390,000
兵庫県債(5)	100,000,000	101,200,000	1,200,000
札幌市債(26-5)	100,000,000	102,670,000	2,670,000
仙台市債(29-1)	100,000,000	93,600,000	△ 6,400,000
共同地方債(223)	150,000,000	144,795,000	△ 5,205,000
大阪府債(463)	99,744,697	96,970,000	△ 2,774,697
神奈川県債(237)	99,702,310	98,600,000	△ 1,102,310
小計	1,769,315,857	1,773,799,207	4,483,350
特定資産			
宮城県債(32-1)	50,000,000	49,785,000	△ 215,000
小計	50,000,000	49,785,000	△ 215,000
その他の固定資産			
中期国債(456)	209,978	209,475	△ 503
長期国債(334)	5,982,138	5,986,298	4,160
超長期国債(148)	1,890,595	2,019,514	128,919
超長期国債(151)	3,364,076	3,437,602	73,526
超長期国債(10)	989,776	1,039,900	50,124
小計	12,436,563	12,692,789	256,226
合計	1,831,752,420	1,836,276,996	4,524,576

4. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記3に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	291,037	163,573	0	0	454,610
賞与引当金	4,244,256	4,425,068	4,244,256	0	4,425,068
退職給付引当金	7,042,000	1,060,000	0	0	8,102,000

5.財産目録

令和 6年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)						
	現金	手元保管	運転資金として	97,418		
	預金	普通預金				
		七十七銀行本店		3,261,484		
		七十七銀行本店		137,599,918		
		七十七銀行本店	運転資金の運用として	1,186		
		七十七銀行多賀城支店		440		
		仙台銀行多賀城支店		31,430,326		
	仙台銀行多賀城支店		1,316,928			
	未収利息	有価証券等未収利息	運転資金として	1,964,697		
未収金	施設利用者等 全43件	施設利用料未収額等	14,695,674			
前払金	経過利子	債券購入に係る経過利子	51,779			
立替金	主催事業事務局に対する立替金	全国やきものフェア事務局経費立替	416,140			
	レストランに対する立替金	レストラン電気・水道料金立替	164,683			
前払費用	事業経費前払	保険料・保守料等	1,067,559			
流動資産合計				192,068,232		
(固定資産)						
基本財産	定期預金	七十七銀行本店		7,840,081		
		仙台銀行多賀城支店		1,844,062		
	投資有価証券	第456回中期利付国債		149,983,985		
		第455回中期利付国債		99,991,185		
		第369回長期利付国債		100,000,000		
		第334回長期国債		244,165,366		
		第148回超長期国債		199,057,452		
		第151回超長期利付国債	寄附により受け入れた財産であり、運用益を法人会計の財源として使用している	98,478,458		
		第10回超長期利付国債		78,192,404		
		宮城県債第31回1号		50,000,000		
		宮城県債第35回2号		100,000,000		
		兵庫県債第5回		100,000,000		
		平成26年度第5回札幌市債		100,000,000		
		仙台市平成29年度第1回公募公債		100,000,000		
		第223回共同発行市場公募地方債		150,000,000		
		第463回大阪府公募公債		99,744,697		
		神奈川県債第237回		99,702,310		
		特定資産	退職給付引当資産	決済用預金		1,060,000
				七十七銀行本店	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	7,042,000
七十七銀行多賀城支店						
減価償却引当資産	決済用預金		21,496,959			
	七十七銀行本店	施設管理運営事業の積立資産であり、備品等の取得資金として管理されている資金	70,000,000			
定期預金	七十七銀行本店					
	七十七銀行本店					
その他固定資産	施設補修積立資産	普通預金		100,000,000		
		仙台銀行多賀城支店	施設管理運営事業の積立資産であり、施設の補修資金として管理されている資金	17,345,500		
	定期預金					
	仙台銀行多賀城支店					
	宮城県債第32回1号		50,000,000			
	投資有価証券	宮城県公募公債第30回1号	運用益を事業に充当するため	20,044,000		
		東京電力パワーグリッド第8回社債		100,150,000		
		第334回長期国債		5,982,138		
第148回超長期国債			1,890,595			
第151回超長期利付国債			3,364,076			
第10回超長期利付国債		989,776				
第456回中期利付国債		209,978				
建物付属設備	構築物	事務室内間仕切等		3,475,944		
	西館掲示板等		603,911			
	車両運搬具	乗用車等	施設管理運営事業に使用している	5		
	什器備品	貸出用什器等		6,445,970		
	ソフトウェア	顧客管理システム等		4,109,467		
	貸倒引当金		債権の貸倒による損失に備えたもの	△ 454,610		
固定資産合計				2,192,755,709		
資産合計				2,384,823,941		
(流動負債)						
	未払金	取引先等 全85件	各事業経費期末未払額等	32,763,372		
	前受金	施設利用者等 全70件	施設利用料予納金等	44,830,175		
	預り金	職員からの預り金	社会保険料等	2,084,759		
	賞与引当金		職員に対する賞与支払いに備えたもの	4,425,068		
	未払法人税等			10,399,400		
	未払消費税等			7,158,500		
流動負債合計				101,661,274		
(固定負債)						
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	8,102,000		
固定負債合計				8,102,000		
負債合計				109,763,274		
正味財産				2,275,060,667		

監査報告書

一般財団法人みやぎ産業交流センター

理事長 千葉 隆 政 殿

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、当財団定款第9条の規定に基づき、本報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を見直し、法人事業所において業務及びその付属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの付属明細書）について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和6年5月17日

一般財団法人みやぎ産業交流センター

監事

半沢 章



監事

稲妻 敏行



令和 5 年度
公益目的支出計画実施報告書

【別紙1：法人の基本情報】

法人コード	A009267
-------	---------

1. 基本情報

フリガナ	イッパンザイダンハウジンミヤギサンギョウコウリュウセンター			
法人の名称	一般財団法人みやぎ産業交流センター			
主たる事務所の住所及び連絡先				
住所	郵便番号	都道府県名	市区町村丁番地等	補足住所
	983-0001	宮城県	仙台市宮城野区港3丁目1番7号	
代表電話番号	022-254-7111	内線	FAX番号	022-254-7110
代表電子メールアドレス	info@yumemesse.or.jp			
ホームページの有無	有			
ホームページアドレス	https://www.yumemesse.or.jp/			
代表者の氏名	千葉 隆 政			
事業年度	4月1日 ~ 3月31日			
事業の概要	国際見本市その他の見本市，展示会，会議，イベント，大会等の開催及び支援等に関する事業を行うことにより，宮城県の産業振興，地域経済の発展に寄与する。			

【別紙2：公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の概要】

1. 公益目的財産額	2,269,796,581 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(①+②-③)	616,553,835 円
① 前事業年度末日の公益目的収支差額	568,066,750 円
② 当該事業年度の公益目的支出の額	49,769,950 円
③ 当該事業年度の実施事業収入の額	1,282,865 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	1,653,242,746 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 ^注	
当該事業年度の公益目的収支差額は、下表のとおり計画を上回った。なお、公益目的支出計画の実施期間があと38年間である一方、今年度までの公益目的収支差額の計画額との差額は99,873,935円であり、今後の実施事業の規模を鑑みても、実施期間に関しては影響がないと考える。	

注：詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和4年 3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	令和 年 月 日

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	2,269,796,581 円	2,269,796,581 円	2,269,796,581 円	2,269,796,581 円	2,269,796,581 円
公益目的収支差額	469,709,000 円	568,066,750 円	516,679,900 円	616,553,835 円	563,650,800 円
公益目的支出の額	47,470,900 円	45,696,994 円	47,470,900 円	49,769,950 円	47,470,900 円
実施事業収入の額	500,000 円	4,850,324 円	500,000 円	1,282,865 円	500,000 円
公益目的財産残額	1,800,087,581 円	1,701,729,831 円	1,753,116,681 円	1,653,242,746 円	1,706,145,781 円

※全事業年度及び当該事業年度の計画及び実施の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

【実施事業（継続事業）の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 1	見本市、展示会等の誘致、開催、支援事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
<p>(1)趣旨 国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の誘致、開催及び支援等に関する事業を行うことにより、宮城県の産業振興、地域経済発展に寄与する。</p> <p>(2)内容 1)国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の誘致・開催 [内容] 展示会産業の推進による産業振興・地域経済発展を図ることを目的に宮城県の施策に沿った各種産業見本市や展示会等を企画・運営するとともに、見本市や展示会等を積極的に誘致している。 また、各種イベント等の開催を通し、地域の文化振興や交流活性化を積極的に推進している。</p> <p>2)国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の開催支援 [内容] 展示会産業の推進による産業振興・地域経済発展を図ることを目的に、宮城県の施策に沿った各種見本市や展示会について、その開催を支援している。更に(公財)仙台観光コンベンション協会と連携して展示会開催支援を行うとともに、(公財)みやぎ産業振興機構、(社)みやぎ工業会、(公財)仙台市産業振興事業団等が実施する事業に積極的に参画していく。</p> <p>3)他施設との連携による国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の誘致 [内容] 様々な業界の産業振興・地域経済発展を図ることを目的に、各種産業見本市や展示会等について、近隣施設と連携した誘致活動を推進する。</p> <p>(3)事業実施のための財源及び人員 1)みやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入及び一部の展示会での出展料を財源として事業を実施する。 2)事務局長及び事務局職員(7名)が本事業に従事する。 3)施設概要 名称：みやぎ産業交流センター 場所：仙台市宮城野区港3丁目1-7 設備：7,500平方メートルの展示場を擁する「展示棟」、大ホール・会議室・レストランなどから成る「会議棟」、展示棟に隣接し、展示会の幅を広げる「屋外展示場」の3つの空間を有する。</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	26,308,000円
② 〃 実施事業収入の見込額	200,000円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
<p>(1)宮城県の施策に沿った各種産業見本市や展示会等を企画・運営するとともに、見本市や展示会等を積極的に誘致しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国やきものフェア in みやぎ 2023 (共催 7月13日～17日 入場者数 32,257人) ・みやぎ元気まつり 2023 (共催 8月5日～6日 入場者数 24,500人) ・ビジネスマッチ東北 2023 (実行委員会参加 11月8日 入場者数 6,072人) <p>負担金：2,000,000円(税込)</p> <p>(2)宮城県の施策に沿った各種見本市や展示会について、その開催の支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のココロ博 2023 (4月21日～23日 入場者数 30,000人) ・J Aグループ宮城 宮農支援フェスタ 2023 (特別協賛 11月21日～22日 入場者数 1,500人) <p>開催支援金：600,000円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模国際学術会議等開催支援事業 <p>(公財) 仙台観光国際協会と連携し、将来の大規模開催に繋がる小規模国際会議開催を支援。 支援対象：夢メッセ西館又は仙台市内のその他の施設で開催される100人未満の国際学術会議 支援件数：2件 支援総額：100,000円(税込)</p> <p>(3)各種産業見本市や展示会等について、他施設と連携した誘致活動を展開しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での営業活動を行うM I C E 誘致キャラバンに参加 (8月9日～10日) ・SENDAI Communication Fair in 仙台国際センター ―SENCom2024― へ出展 (2月14日) 	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	21,388,849円
② // 実施事業収入の額	1,282,865円
③ (①-②)の額	20,105,984円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	21,388,849円
⑤ // 損益計算書の収益の額	1,282,865円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^注	
公益目的支出額の実績は計画を下回り、実施事業収入額の実績は計画を上回ったが、今後の実施事業の規模を鑑みても実施期間に関しては影響がないと考える。	

注：この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継 1	見本市，展示会等の誘致，開催，支援事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し，その算定に当たりの考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	② 実 施 事 業 収 入 の 額	② の 額 の 算 定 に 当 っ て の 考 え 方 ^注
展示会開催事業収益	1,282,865 円	1,282,865 円	共催事業に係る収益等
計	1,282,865 円	1,282,865 円	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について，必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し，その算定に当たりの考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	② 公 益 目 的 支 出 の 額	② の 額 の 算 定 に 当 っ て の 考 え 方 ^注
その他	21,388,849 円	21,388,849 円	異なる費用科目はないため，①と②は同額である。
計	21,388,849 円	21,388,849 円	

注：①と②が同額である場合には，「科目」欄を「その他」として，まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 2	見本市, 展示会等出展支援事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
(1)趣旨 国際見本市その他の見本市, 展示会, 会議, イベント, 大会等の誘致, 開催及び支援等に関する事業を行うことにより, 宮城県の産業振興, 地域経済発展に寄与する。	
(2)内容 1)国際見本市その他の見本市, 展示会等への出展支援 [内容] 様々な業界の産業振興・地域経済発展を図ることを目的に, 各種産業見本市や展示会等へ出展する事業者を支援し, 展示会等が開催されやすい環境を作り, 展示会利用者層の拡大を図っている。	
(3)事業実施のための財源及び人員 1)みやぎ産業交流センターの指定管理者として, 管理運営によって得られる利用料金収入を財源として事業を実施する。 2)事務局長及び事務局職員(7名)が本事業に従事する。 3)施設概要 名称: みやぎ産業交流センター 場所: 仙台市宮城野区港3丁目1-7 設備: 7,500平方メートルの展示場を擁する「展示棟」, 大ホール・会議室・レストランなどから成る「会議棟」, 展示棟に隣接し, 展示会の幅を広げる「屋外展示場」の3つの空間を有する。	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	1, 334, 000円
② // 実施事業収入の見込額	0円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
(1)国際見本市その他の見本市, 展示会等への出展支援事業 様々な業界の産業振興・地域経済発展を図ることを目的に, 各種産業見本市や展示会等へ出展する事業者を支援し, 展示会等が開催されやすい環境を作り, 展示会利用者層の拡大を図りました。 ・支援対象: 宮城県の実施する「優れ MONO 認定事業」の認定を受けた工業製品 ・支援件数: 3件 ・支援総額: 474,960円(税込) ・みやぎ優れ MONO 発信事業実行委員会負担金: 700,000円(税込)	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	1, 068, 146円
② // 実施事業収入の額	0円
③ (①-②)の額	1, 068, 146円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	1, 068, 146円
⑤ // 損益計算書の収益の額	0円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合, その内容及び理由 ^注	
公益目的支出額の実績は計画を下回ったが, 今後の実施事業の規模を鑑みても実施期間に関しては影響がないと考える。	

注: この事業に係る公益目的支出の額等の変更が, 公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継 2	見本市，展示会等出展支援事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し，その算定に当たりの考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	② 実 施 事 業 収 入 の 額	② の 額 の 算 定 に 当 っ て の 考 え 方 ^注
その他	0 円	0 円	
計	0 円	0 円	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について，必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し，その算定に当たりの考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	② 公 益 目 的 支 出 の 額	② の 額 の 算 定 に 当 っ て の 考 え 方 ^注
その他	1,068,146 円	1,068,146 円	異なる費用科目はないため，①と②は同額である。
計	1,068,146 円	1,068,146 円	

注：①と②が同額である場合には，「科目」欄を「その他」として，まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

事業番号	事業の内容
継 3	展示会活用推進事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
(1)趣旨 展示会産業の地域経済、産業に及ぼす波及効果は大きなことから、講演会、展示会活用セミナー等の開催により啓発、周知することにより、見本市、展示会への出展、活用を促進し、宮城県の産業振興、地域経済発展に寄与する。 また、全国展示場連絡協議会、日本展示会協会等の展示会産業関連業界の全国組織に加入し、連携して様々な活用方策の検討、実施を通し展示会産業の一層の振興を図る。	
(2)内容	
1)見本市、展示会に関する講演会の開催 見本市・展示会がもたらす経済波及効果の大きさ、イノベーション創出効果など、その意義や有用性を周知・啓発し、地域経済の活性化と発展を図ることを目的とし、講演会を開催するもの。	
2)展示会活用セミナーの開催 展示会開催・出展が製品・商品等の情報発信、商談にいかにも有効かを知ってもらうためのセミナーを開催するもの。	
3)施設利用者との意見情報交換会の開催 展示会主催者、出展者、展示会関連事業者、夢メッセみやぎの指定管理者が一堂に会することにより、異業種間に新たな連携の機会を提供するとともに、施設に対する意見提言について運営に反映させるもの。	
4)表彰事業 見本市・展示会に関わる事業者の意欲・技術の向上を図り、地域における展示会産業の発展を目指すもの。	
5)展示会産業における全国組織との連携 以下の団体に加盟し、展示会産業統計の国際標準化企画誘致手法の研究、グリーン電力購入などの環境に配慮したエコ展示会等の研究、推進等に連携して取り組むことにより、展示会産業の振興、持続可能な展示会の促進等を図るもの。 〔加盟団体〕 ・全国展示場連絡協議会（全国の公的展示施設管理者の組織。会員数 48 団体 53 施設） ・日本展示会協会（主催者、展示施設、展示会支援企業からなる団体。会員数 322 社・団体）	
(3)事業実施のための財源及び人員	
1)みやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入及びセミナー・意見情報交換会の参加費を財源として事業を実施する。	
2)事務局長及び事務局職員(7名)が本事業に従事する。	
3)施設概要 名称：みやぎ産業交流センター 場所：仙台市宮城野区港3丁目1-7 設備：7,500平方メートルの展示場を擁する「展示棟」、大ホール・会議室・レストランなどから成る「会議棟」、展示棟に隣接し、展示会の幅を広げる「屋外展示場」の3つの空間を有する。	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	710,000円
② // 実施事業収入の見込額	300,000円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
<p>(1)見本市・展示会に関する講演会の開催</p> <p>見本市・展示会がもたらす経済波及効果の大きさ、イノベーション創出効果など、その意義や有用性を周知・啓発し、地域経済の活性化と発展を図ることを目的として、講演会を開催した。</p> <p>第14回夢メッセみやぎ講演会(3月21日 参加者68人)</p> <p>演題：『【実演】最強の出展結果を出す「ロジカルなブースの作り方」 ～「来場者の心理」から考える「空間デザイン」とは?～』</p> <p>講師：SUPER PENGUIN 株式会社 代表取締役 竹村 尚久 氏</p> <p>会場：夢メッセみやぎ本館 会議棟大ホール</p>	
<p>(2)展示会産業における全国組織との連携</p> <p>引き続き下記の団体に加盟し、展示会産業の振興に努めた。</p> <p>(加盟団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国展示場連絡協議会(全国の公的展示施設管理者の組織。会員数50団体56施設) 	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	1,803,080円
② // 実施事業収入の額	0円
③ (①-②)の額	1,803,080円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	1,803,080円
⑤ // 損益計算書の収益の額	0円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^注	
公益目的支出額の実績は計画を上回り、実施事業収入額の実績は計画を下回ったが、今後の実施事業の規模を鑑みても実施期間に関しては影響がないと考える。	

注:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継3	展示会活用推進事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たりの考え方を記入してください。

損益計算書の科目	① 損益計算書の収益の額	② 実施事業収入の額	②の額の算定に当たりの考え方 ^注
その他	0円	0円	
計	0円	0円	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たりの考え方を記入してください。

損益計算書の科目	① 損益計算書の費用の額	② 公益目的支出の額	②の額の算定に当たりの考え方 ^注
その他	1,803,080円	1,803,080円	異なる費用科目はないため、①と②は同額である。
計	1,803,080円	1,803,080円	

注：①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 4	展示施設等効用増進事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
(1)趣旨 当財団はみやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入を財源として事業を実施するものであるが、稼働率を高め利用料の増収を図るため、利用者の利便性を高める施設設備の整備及び施設設備の安定的な稼働を確保するための整備を行うものである。	
(2)内容 利用者の利便性を高める施設設備の整備及び施設設備の安定的な稼働を確保するための整備を行う。 従来、この事業は指定管理者募集の際の提案事業として実施されてきたものであるが、この他にも随時必要に応じ財団が実施してきたものであり、すべて宮城県に寄附してきた。	
(3)事業実施のための財源及び人員	
1)みやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入を財源として事業を実施する。	
2)事務局長及び事務局職員(7名)が本事業に従事する。	
3)施設概要	
名称：みやぎ産業交流センター	
場所：仙台市宮城野区港3丁目1-7	
設備：7,500平方メートルの展示場を擁する「展示棟」、大ホール・会議室・レストランなどから成る「会議棟」、展示棟に隣接し、展示会の幅を広げる「屋外展示場」の3つの空間を有する。	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	600,000円
② // 実施事業収入の見込額	0円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
みやぎ産業交流センターの指定管理者として、利用者の利便性を高め、安定的な稼働を確保するため必要な都度施設設備の整備等を行ってきたが、今年度は本事業による整備等が必要な施設設備がなかったことから、当該事業を実施しなかった。	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	0円
② // 実施事業収入の額	0円
③ (①-②)の額	0円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	0円
⑤ // 損益計算書の収益の額	0円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^注	
公益目的支出額の実績は計画を下回ったが、実施期間に関しては影響がないと考える。	

注：この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継 4	展示施設等効用増進事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たりの考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	② 実 施 事 業 収 入 の 額	②の額の算定に当たりの考え方 ^注
その他	0円	0円	
計	0円	0円	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たりの考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	② 公 益 目 的 支 出 の 額	②の額の算定に当たりの考え方 ^注
その他	0円	0円	
計	0円	0円	

注：①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

④〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業等会計で「共通」に区分された収益・費用について】

損益計算書の「実施事業等会計」において「共通」の会計区分を設けている場合、その収益・費用について記載してください。

「共通」の会計区分を設けていない場合は、本表の作成は不要です。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	② 実 施 事 業 収 入 の 額	②の額の算定に当たっての考え方 ^注
	0円	0円	
計	0円	0円	

注：実施事業収入の額の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	② 公 益 目 的 支 出 の 額	②の額の算定に当たっての考え方 ^注
その他	25,509,875円	25,509,875円	異なる費用科目はないため、①と②は同額である。
計	25,509,875円	25,509,875円	

注：①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

【公益目的支出計画実施期間中の収支の見込について】

(1) その他の主要な事業について

変更の内容及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注1}
特に変更なし。

注1：その他の主要な事業として、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」に記載した事業のうち、その事業の内容や実施方法に変更があった場合に、事業番号・変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。また、新たにその他の主要な事業を開始した場合は、その旨、当該事業の概要及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。

(2) 資産の取得や処分、借入について

実施内容（計画の変更内容）及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注2}
特に変更なし。

注2：「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載した多額の借入れや施設の更新、高額財産の取得・処分等の活動を実施した場合は、公益目的支出計画に与えた影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもののうち、計画内容に変更があった場合に、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもの以外で、法人全体の財務に大きな影響を与える活動を新たに予定する場合は、その内容、理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般財団法人みやぎ産業交流センター

理事長 千葉 隆 政 殿

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度事業における公益目的支出計画実施報告書について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第2項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第1項（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第199条において準用する同法第124条第1項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律施行規則第43条の規定に基づき、本報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容


私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

2 監査意見

当法人の公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示していると認めます。

令和6年5月17日

一般財団法人みやぎ産業交流センター

監事 半沢 章 

監事 稲妻 敏行 

令和6年度 事業計画書

令和6年度事業計画

I 基本方針

令和5年5月から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことを受け、社会経済活動の正常化が進み、社会全体として様々なイベント活動等が段階的にコロナ禍前の状況に回復してきています。

夢メッセみやぎの施設利用状況は、徐々に上向いていますが、大規模催事の開催は、依然、コロナ禍前の状況までの回復には至らず、経営の安定化に向け厳しい状況が続いています。

このような状況のもと、令和6年度は、財団設立の趣旨・目的の実現に向けて、安定した運営への回復を目指すとともに、引き続き利用者サービスの向上、情報発信力の強化、業務の効率化・高度化に取り組みながら、次の3つの基本方針に沿って事業を展開していきます。

なお、夢メッセみやぎの指定管理については、当財団を代表団体とする「夢メッセみやぎ管理運営共同事業体」が、引き続き令和6年4月から令和11年3月までの5年間の指定管理者として選定されました。

- 1 地域経済への波及効果が大きい各種展示会や見本市、イベント、会議等の開催・誘致を積極的に進めるとともに、展示会等の開催、出展支援や活用促進等の事業を展開し、宮城県の産業振興と地域経済の発展に貢献する。
- 2 これまでに培った管理運営ノウハウを十分に活かしながら、今後さらに多様化するニーズに対応できるよう施設設備の更なる充実に努め、一層の利用者サービスの向上と安全安心の確保を図るとともに、経済・産業団体やコンベンション関係団体との情報交換・連携、広報・宣伝活動を能動的に展開し、一層の施設利用の促進と経営の安定化を図る。
- 3 「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」及び「仙台港エリア振興会」の活動に積極的に参画し、大型集客施設等との連携によるエリア全体の魅力発信に努め、仙台港周辺地域の賑わい創出と活気あふれるまちづくりに取り組む。

II 実施事業の概要

1 展示会等の開催、支援、誘致

(1) 展示会等の開催事業

経済波及効果が大きく地域産業の振興に資する展示会、イベント等を主催・共催する。

- ① 全国やきものフェア in みやぎ（7月）
- ② みやぎ元気まつり（8月）
- ③ ビジネスマッチ東北（11月）

(2) 展示会等の開催支援事業

県内の経済・産業等の関係団体と連携し、産業振興等の趣旨に沿った各種見本市や展示会等の開催を支援する。

- ① J Aグループ宮城営農支援フェスタ
- ② 小規模国際学術会議等開催支援事業

※（公財）仙台観光国際協会と連携し、将来の大規模開催につながる小規模国際学術会議の開催を支援

(3) 展示会等の誘致活動事業

広く情報収集を行い、個別案件へのアプローチを強化するとともに、様々な媒体・機会を活用して、夢メッセみやぎについての情報発信を行いながら、PR活動、県内や隣県の施設との連携を視野に入れた展示会等の誘致活動を展開する。

- ① 夢メッセみやぎでの開催が有望な展示会等の主催者・代理店等への積極的な働きかけ
- ② 南東北3県の展示施設の連携による情報収集や誘致活動
- ③ 仙台市内のコンベンション関係施設の連携による情報収集や誘致活動

2 展示会等出展支援事業

地域の産業振興・経済発展につながることを目的に、産業見本市や展示会等へ出展する事業者を支援し、展示会等が開催されやすい環境をつくり、展示会利用者の拡大を図る。

○「みやぎ優れ MONO」認定製品の出展助成

みやぎ優れ MONO 発信事業実行委員会が認定する「みやぎ優れ MONO」製品の展示会等への出展料等を助成する。

3 展示会活用促進事業

企業活動の活発化や地域経済の活性化につなげるため、展示会等活用事例セミナー等を開催するほか、展示場関連全国組織が実施する事業に参加し、情報収集に努める。

- ① 展示会等の活用に関する講演会・セミナー等の開催
- ② M I C E 関連見本市等を通じての情報収集
- ③ 全国展示場連絡協議会関連事業への参加

4 展示施設等効用増進事業

夢メッセみやぎの指定管理者として、利用者の安全と利便性・快適性の向上を図り、より多くの利用を促進するため、必要に応じて施設・設備等を整備する。

Ⅲ その他事業の概要

1 展示施設等管理運営事業

(1) 夢メッセみやぎ管理運営事業

令和6年度は、令和10年度までの新たな5年間の指定管理期間の初年度であり、指定管理の事業計画に掲げた総合的な管理運営方針に基づき、利用者サービスの向上と一層の施設利用の促進に努める。

総合的な管理運営方針

- ① 夢メッセみやぎの機能を最大限に活かした産業振興機能の発揮
- ② 交流人口の増加による地元経済の活性化への貢献
- ③ 「利用者満足第一主義」に基づく充実したサービスの提供
- ④ 長年のノウハウ・ネットワークに基づく稼働率向上への取組
- ⑤ 常に安全・安心で快適な利用環境の提供
- ⑥ 平等利用確保や個人情報保護など、コンプライアンス意識の高い管理運営

(2) 広報・宣伝等事業

夢メッセみやぎの施設・機能の優位性について、積極的な広報・宣伝活動を展開し、利用促進につなげる。

- ① ホームページや様々な媒体を活用した施設の情報や魅力、イベント情報等の発信力強化
- ② 全国業界紙等多彩な広報手段による広報・宣伝
- ③ 比較的利用の少ない時期（平日、閑散期）をターゲットにした誘致

(3) 地域との連携事業

「仙台港エリア振興会」の事務局として、多彩な施設・機能を有するエリア内の魅力を発信するための地域連携事業に取り組む。また、官民組織である「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」に参画し、共同イベントの開催やインバウンド受入など仙台港周辺地域の賑わい創出と活気あふれるまちづくりに取り組む。

令和6年度 予算書

令和6年度 正味財産増減予算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位:円)

科目	R06予算	R05予算	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	10,243,000	10,438,000	△ 195,000
基本財産運用益	10,243,000	10,438,000	△ 195,000
基本財産受取利息	0	0	0
②特定資産運用益	35,000	35,000	0
特定資産運用益	35,000	35,000	0
特定資産受取利息	0	0	0
③事業収益	404,040,000	382,590,000	21,450,000
施設利用料収益	400,000,000	380,000,000	20,000,000
展示会開催事業収益	1,000,000	100,000	900,000
その他の事業収益	0	250,000	△ 250,000
自販機等利用料収益	3,040,000	2,240,000	800,000
④雑収益	2,463,000	2,793,000	△ 330,000
有価証券運用益	920,000	920,000	0
雑収益	1,543,000	1,873,000	△ 330,000
経常収益計	416,781,000	395,856,000	20,925,000
(2) 経常費用			
①事業費	401,687,000	408,001,400	△ 6,314,400
展示会開催費	15,069,000	18,069,000	△ 3,000,000
展示会開催支援費	1,546,000	3,365,000	△ 1,819,000
展示会出展助成費	1,637,000	1,637,000	0
委託管理費	113,392,000	102,999,000	10,393,000
維持管理費	41,488,000	39,783,400	1,704,600
施設補修費	4,400,000	4,800,000	△ 400,000
水道光熱費	82,000,000	80,000,000	2,000,000
備品購入費	50,000	100,000	△ 50,000
管理運営消耗品費	2,050,000	2,050,000	0
行政財産目的外使用料	1,911,000	1,911,000	0
納付金	36,364,000	51,852,000	△ 15,488,000
固定資産等寄附額	0	0	0
減価償却費	5,390,000	4,500,000	890,000
広告宣伝費	2,787,000	2,990,000	△ 203,000
役員報酬	6,569,000	6,549,000	20,000
給料手当	46,940,000	51,017,000	△ 4,077,000
法定福利費	9,950,000	9,918,000	32,000
退職金掛金	2,112,000	2,112,000	0
退職給付費用	1,500,000	1,000,000	500,000
福利厚生費	1,458,000	1,561,000	△ 103,000
諸謝金	300,000	250,000	50,000
会議費	30,000	88,000	△ 58,000
旅費交通費	1,000,000	385,000	615,000
通信運搬費	1,914,000	1,843,000	71,000
新聞図書費	79,000	78,000	1,000
印刷費	330,000	470,000	△ 140,000
関係団体諸会費	299,000	368,000	△ 69,000
寄附金	0	0	0
交際費	500,000	100,000	400,000
修繕費	670,000	840,000	△ 170,000
事務用消耗品費	647,000	937,000	△ 290,000
使用料及び賃借料	1,918,000	1,856,000	62,000

科目	R06予算	R05予算	増減額
保険料	100,000	121,000	△ 21,000
租税公課	256,000	326,000	△ 70,000
委託費	1,200,000	2,860,000	△ 1,660,000
支払手数料	136,000	64,000	72,000
負担金	120,000	100,000	20,000
研修費	100,000	100,000	0
保守料	683,000	674,000	9,000
雑費	0	0	0
貸倒引当金繰入額	54,000	0	54,000
事業所税	10,328,000	10,328,000	0
賞与引当金繰入額	4,410,000	0	4,410,000
②管理費	13,777,000	13,978,000	△ 201,000
役員報酬	7,876,000	7,723,000	153,000
給料手当	2,504,000	2,503,000	1,000
法定福利費	1,600,000	1,580,000	20,000
福利厚生費	40,000	0	40,000
会議費	175,000	180,000	△ 5,000
旅費交通費	235,000	215,000	20,000
通信運搬費	2,000	1,000	1,000
新聞図書費	3,000	6,000	△ 3,000
印刷費	30,000	0	30,000
関係団体諸会費	307,000	307,000	0
交際費	0	0	0
寄附金	0	0	0
事務用消耗品費	0	0	0
使用料及び賃借料	0	33,000	△ 33,000
租税公課	26,000	15,000	11,000
委託費	340,000	340,000	0
支払手数料	5,000	5,000	0
負担金	19,000	25,000	△ 6,000
研修費	100,000	100,000	0
投資有価証券償却	515,000	945,000	△ 430,000
経常費用計	415,464,000	421,979,400	△ 6,515,400
評価損益等調整前当期経常増減額	1,317,000	△ 26,123,400	27,440,400
投資有価証券評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,317,000	△ 26,123,400	27,440,400
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,317,000	△ 26,123,400	27,440,400
法人税・住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	1,245,000	△ 26,195,400	27,440,400
一般正味財産期首残高	480,853,473	503,471,569	△ 22,618,096
一般正味財産期末残高	482,098,473	477,276,169	4,822,304
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,779,000,000	1,779,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,779,000,000	1,779,000,000	0
III 正味財産期末残高	2,261,098,473	2,256,276,169	4,822,304